

- む ずかしいことも、
- む き合う、
- む くぎ太一。



広島市議会議員 **むくぎ 太一**

新聞 Vol.7

「国一県一市町村」という構造ができて100年以上経っています。「地方創生」が叫ばれる今、住民満足度を高める力ギを握るのは、住民に最も近い市町村（基礎自治体）です。時代は変化し、国と市町村が直接やり取りできる権限の委譲を必要として

いるのです。新型コロナウイルスの感染拡大で、住民は基礎自治体に、よりスピーディーで的確な施策を求めています。ところが、新型コロナウイルスなどの感染症対策では、法令等により、県が「司令塔」、広島市は情報収集等の「現場業務」を担うことになっています。患者の入院の有無・搬送先の調整役は県が、広島市は患者との

連絡役という具合です。情報や書類等は県と広島市で行き来して意思決定に時間がかかり、作業の煩雑さからミスが生じやすくもなります。また、従来の「国一県一市町村」による口入は、「国一県一市町村」による口入は、感染症対策に限りません。一方、特別自治市の考え方は、「国一特別自治市」という関係性なので、前述のような口入を減らし、「効率的な自治体運営」「住民満足度の高い街づくり」が可能になります。広島市は特別自治市を視野に入れ、**(2)「200万人広島都市圏構想」**を掲げて施策を展開しています。



元新聞記者の視点で地域の課題をピックアップします

特別自治市

即応性、的確性のある行政サービスの実現に向けて

(1)「特別自治市」をご存知でしょうか。現行の政令指定都市制度に代わる「大都市制度」として、広島市などの政令市が実現を目指しています。

現在、制度設計や法制化に至っていませんが、県から政令市に権限を移し、迅速で効率的な自治体運営を可能にするものとして期待されています。

「国一県一市町村」という構造

ができて100年以上経っています。

「地方創生」が叫ばれる今、

住民満足度を高める力ギを

握るのは、住民に最も近い市町村

(1)~(6)はP4の**Q&A**で解説しています。

Q&A

広島市政に関連する質問にむくぎ太一がお答えします。

今回はそれぞれの話題に出てくる言葉や事柄を掘り下げて説明します。

Q.1 「特別自治市」って何？ (P1)

一元的、総合的な事務や権限と、それに見合う自主財源を制度的に保障する、新たな大都市制度のことです。政令都市市長会が2010年5月に初めて提言しました。「特別自治市」のみならず、周辺自治体の雇用創出や経済活性化といった効果も期待されます。

Q.2 200万人 広島都市圏構想って何？ (P1)

人口減少社会において、広島市内から60キロ、車で1時間圏内にある「広島広域都市圏」の24市町が一丸となって、圏域経済活性化と圏域人口200万人の維持を目指すものです。「連携中枢都市圏」制度を活用しながら各市町の強みを伸ばして弱みも補い、個性をいかして輝く圏域づくりを行います。

Q.3 地域猫活動って何？ (P2)

地域住民らが野良猫に去勢・避妊手術を行うなど適切な管理を行い、野良猫の数を減らしていく活動です。地域猫とは、特定の飼い主がいない猫のことで、一代限り、その地域で寿命を全うさせます。去勢・避妊手術後の猫は耳の一部をカットして地域猫である目印にします。

Q.4 地域猫活動とは 具体的には何をやるの？ (P2)

野良猫を去勢・避妊手術を受けさせるために捕獲し、手術の手配もします。手術後は元の場所に戻し、適切に餌やりやトイレの管理を行います。また、飼い猫を外飼いしないよう啓発したり、地域猫活動の理解を得るため、普及活動にも取り組んだりします。

Q.5 児童相談所は 何をするとところですか？ (P3)

こどもに関する様々な相談に対し、こどもや家庭に効果的な援助を行うことでこどもの福祉を図り、こどもの権利を護るための専門機関です。相談は、虐待や非行、生育状況、家庭環境や保護者の心身に関するものなど多岐にわたります。警察や学校、地域団体等との連携も主な役割です。

Q.6 広島市の児童相談所の 夜間・休日体制は？ (P3)

夜間は電話相談員が虐待などの通告等を受け、輪番で自宅待機している役付き職員に連絡します。役付き職員が一時保護などの必要性を判断した後、自宅待機している別の職員2人に連絡、一時保護などの対応をします。休日の昼間は電話相談員1人と職員2人が職場待機しています。

むくぎ 太一事務所

〒731-0138 広島市安佐南区祇園1丁目4-5
TEL 082-846-5450 / FAX 082-846-5451



【公式 HP】



【Facebook】



【Instagram】

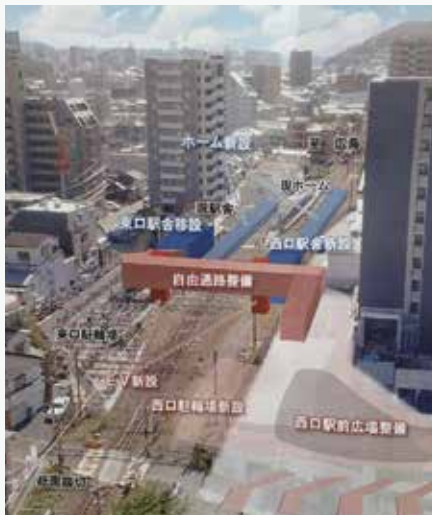


【Twitter】

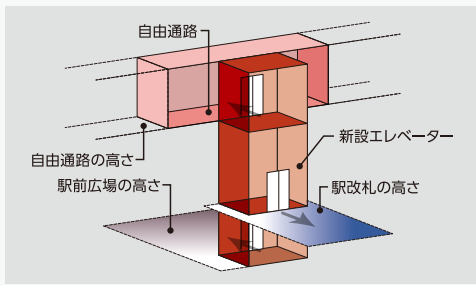
プロフィール

椋木 太一(むくぎ たいち)
1975年(昭和50年)7月28日生 広島市安佐南区出身
元読売新聞記者 自由民主党安佐南支部長
広島県立安古市高校、早稲田大学政治経済学部卒業
広島市議会総務委員会、都市活性化特別委員会
政策立案検討会議メンバー

この市政報告は、広島新生クラブの承認を得て発行しています。



JR下祇園駅完成イメージ



自由通路エレベーターの整備イメージ

広島市はJR西日本とともに、JR可部線の下祇園駅の自由通路などの整備計画を進めています。昨年12月までに計画概要がまとまりましたので、事業内容等をお伝えします。

『 JR下祇園駅 自由通路整備 』

まず、整備の目的です。下祇園駅は駅舎・改札が線路東側にしかなく、線路西側からの利用者は踏切を渡る必要があります。同駅西側地区は広島経済大学やイオンモール広島祇園、マンション等が集積しており、車や歩行者が狭い踏切を行き交う危険な状態になっています。この状況を改善するため、JR西日本は線路西側にも駅舎と西口改札を

新設します。広島市は、高架型自由通路や西口駅前広場を整備します。自由通路は2021年度着工予定で、2023年度末の利用開始を目指します。

完成すると、踏切を渡ることなく線路の東西を行き来できます。また、西口駅前広場はロータリーや駐輪場を備えます。車の通行量が増えることが予想されるため、周辺道路の拡幅も計画されています。

JR西日本は、駅舎を線路の東西に新設し、ホームを現在の「島型」から両端型に変更します。

総事業費は29億円。内訳は自由通路等の整備が14億円、駅舎等の改良は15億円（広島市と国が1/3ずつ負担）です。

『 地域猫活動 』

12月定例会

一般質問 テーマ

- 1 大都市制度について
- 2 コロナ禍における広島市立学校の学習状況について
- 3 地域猫活動について
- 4 児童相談所について
- 5 町内会・自治会への加入促進について

5つの政策

私は、5つの政策を打ち出して選挙に臨みました。これは、「4年間の任期で一定の成果を挙げます」と有権者の皆様と約束したことです。

- 1. 子育て支援・人材育成
- 2. 道路などのインフラ整備を推進
- 3. 防災・減災
- 4. 「カラーバリアフリー」の推進
- 5. 広島市政改革・メディア戦略

※ は今回のテーマとしている政策です。

談所の夜間・休日体制の強化⑤町内会・自治会の加入促進——の5テーマを取り上げました。そのうち、「地域猫活動」の質問要旨と広島市の答弁を詳報します。私が会長を務める祇園地区の連合町内会では、2020年11月から広島市の③(4)「地域猫活動」に取り組みしています。この事業には、住む地域によって、地域猫活動のサービスを受けられる人と、受けられない人が存在してしまうという課題があります。原因は、地域猫活動への参加申請の主体が、町内会・自治会に限られている点にあります。



令和2年第8回定例会（一般質問）

数万円という手術費を負担することは、明らかに制度上の欠陥といえます。

町内会・自治会に限定している参加申請の主体を見直し、

NP法人やボランティア団体などにも門戸を広げるべきではないでしょうか？

また、動物病院やNP法人等に手術を委託するなり、補助金を出さずなり、民間等にも受け入れ先を広げるべきです。

広島市の獣医師会にも働きかけるべきではないでしょうか？

餌やりやトイレの管理などを継続できるグループ等に対象を広げることや、NP法人等に手術費を補助することなど、獣医師会などと協議

『 児童相談所の夜間・休日体制の強化策について 』

児童虐待の増加もあり、(5)児童相談所(児相)の重要性が増すとともに、児相職員の心身の負担も増大しています。広島市の児童福祉の向上の観点から、踏まえ、児相の夜間・土日体制の改善、強化策を提案しました。

児相への通告や問い合わせは昼夜問いません。私自身、新聞記者時代に24時間365日、警察や消防の対応をした経験から、その種の心身のストレスは理解できます。心身が疲弊してしまうと、児相職員の高い意欲は削がれ、広島市の児童福祉にとってプラスにはなりません。福岡市や札幌市では、虐待が疑われる等の通告に対する安全確認を民間委託しています。(6)児相の夜間・休日体制の改善・強化について、民間委託によって児相職員の負担を軽減し、児童福祉の向上を図るべきではないでしょうか？

民間委託については、子どもも安全確保と職員の負担軽減の両面から、他都市も参考に検討します。

の上、地域猫活動の事業スキームを見直します。

地域猫活動に関して、動物管理センターの担当獣医師は1人で、年間1000頭の手術をしています。門戸を広げると手術数が増え、いずれ限界がきます。

広島市の担当獣医師を増やすべきではないでしょうか？

地域猫活動への参加が増え、去勢・避妊手術は1か月待ちの状態です。こうした状態を解消するため、獣医師の派遣など獣医師会との連携を図ります。

参加している町内会・自治会にエサ代等の補助を検討すべきではないでしょうか？

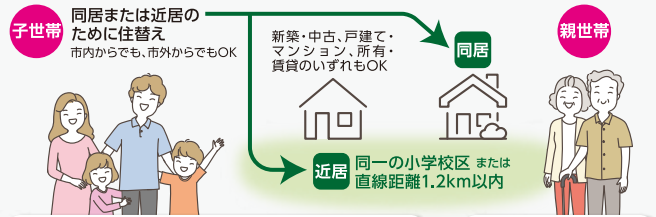
餌代など運営上の課題について実態を確認します。



『 三世帯同居・近居支援事業について 』

地域コミュニティ活性化策の一つとして、広島市は、「三世帯同居・近居支援事業」を行っています。これは、小学生以下の子どもがいる世帯が、広島市内の親と同居や近居を始める際、引越費用などを助成するものです。「転居後に町内会・自治会に加入し、活動に参加すること」を主な要件に組み入れることで、子育て世代が地域コミュニティ活性化の一翼を担うことを狙っています。

引越し費用等※の半額(上限10万円)を助成 ※助成対象は引越費用や不動産登記費用、仲介手数料、礼金など



- <子世帯の主な要件>
 - 小学生以下の子ども(出産予定の子どもを含む)が同居
 - 令和2年度に住替え
 - 住替え後に町内会(自治会)に加入し参画する
- <親世帯の要件>
 - 広島市内在住
 - 子世帯の世帯主または配偶者どちらかの親

お問い合わせ/広島市コミュニティ再生課 TEL(082)504-2125